

儉約堪忍箱

或も世々一更二更三更中々家富貴者も人ありたもろくも小忍のその
 家法と異ひたれぬ故に之を我疾むりも堪忍大時神と信仰堪忍管と
 する節とらら置れど衣履百目より人と思ふ時八十目そが人
 孫や女目には第一堪忍大時神の法幼種といふは又振意おもひ百目合
 わるやイヤく儉約こそ堪忍と堪忍一は百
 目とはすのこり百目と右の疑入は幼
 種といふ普通買宅小の書おも十中目合
 計ア運う堪忍一は八目より十目二目
 のけおく中お兼ひ方堪忍一は令
 張二歩運うは第一入おもて一
 おのふ小及ぶかを近附とも感
 の人おもはば幼種とすすすい
 かるか一も別作の書ふあると
 又物介多は年いまも小まごが
 第一納おも多るはさつわの
 する案内にお入まると心は何
 忍してめんおもるもはる新屋
 くらじやん竹の紐むも堪忍一
 言利のたるも堪忍一は如ま
 かんひやんはおもむくはるも
 ても堪忍一はおもむくはるも
 清めどもそ案内和合二門と
 行時も堪忍大時神とすそ
 家の備りおも金ののけおも
 何事も堪忍のけとこへ
 世々おさめらる家ぞ目出
 御初穂
 堪忍大明神
 奉納
 之本也
 治家
 儉勤

書林兼草紙屋 大坂
 町 塩屋書兵衛 板

儉約堪忍箱 文庫10-8063-19

